

余熱利用施設建設工事

令和03年04月

北名古屋衛生組合

株式会社 東畑建築事務所

建 築			構 造			電 気			機 械		
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	【 意 匠 図 】				【 構 造 図 】		【 電 気 設 備 図 】				【 機 械 設 備 図 】
A- 001	目次	A- 056	プール室 展開図	S- 001	構造特記仕様書 その1	E- 001	電気設備工事特記仕様書	M- 001	機械設備特記仕様書 その1		
A- 002	設計概要・外部仕上表	A- 057	機械室廻り展開図	S- 002	構造特記仕様書 その2	E- 002	配置図	M- 002	機械設備特記仕様書 その2		
A- 003	特記仕様書 その1	A- 058	天井伏図	S- 003	鉄筋コンクリート標準図 その1	E- 003	送電系統図	M- 003	機械設備特記仕様書 その3		
A- 004	特記仕様書 その2	A- 059	建具特記仕様書	S- 004	鉄筋コンクリート標準図 その2	E- 004	動力盤シーケンス図	M- 004	機械設備特記仕様書 その4		
A- 005	特記仕様書 その3	A- 060	建具伏図	S- 005	鉄筋コンクリート標準図 その3	E- 005	動力盤結線図	M- 005	空気調和設備 配置図		
A- 006	特記仕様書 その4	A- 061	建具表 その1	S- 006	鉄筋コンクリート標準図 その4	E- 006	分電盤結線図(1)	M- 006	空気調和設備 機器一覧表(1)		
A- 007	特記仕様書 その5	A- 062	建具表 その2	S- 007	鉄骨標準図	E- 007	分電盤結線図(2)	M- 007	空気調和設備 機器一覧表(2)		
A- 008	特記仕様書 その6	A- 063	ACW詳細図	S- 008	溶接標準図	E- 008	幹線系統図	M- 008	空気調和設備 制気口リスト、フローシート		
A- 009	特記仕様書 その7	A- 064	スライディングウォール詳細図	S- 009	深層混合改良コラム工法特記仕様書	E- 009	幹線動力設備1階平面図	M- 009	空気調和設備 配管 系統図、凡例		
A- 010	工事区分表	A- 065	サイン詳細図	S- 010	土質柱状図 その1	E- 010	幹線動力設備2階平面図	M- 010	空気調和設備 ダクト 系統図、凡例		
A- 011	敷地求積図・面積表	A- 066	プール詳細図 その1	S- 011	土質柱状図 その2	E- 011	コンセント設備1階平面図	M- 011	空気調和設備 配管 1階平面図		
A- 012	求積図・面積表 その1	A- 067	プール詳細図 その2	S- 012	杭・基礎伏図	E- 012	コンセント設備2階平面図	M- 012	空気調和設備 配管 2階平面図		
A- 013	求積図・面積表 その2	A- 068	プール詳細図 その3	S- 013	ビット・機械室伏図	E- 013	照明器具姿図	M- 013	空気調和設備 ダクト 1階平面図		
A- 014	内部仕上表	A- 069	プール詳細図 その4	S- 014	1階伏図	E- 014	照明設備1階平面図	M- 014	空気調和設備 ダクト 2階平面図		
A- 015	敷地現況図	A- 070	プール詳細図 その5	S- 015	2階伏図	E- 015	照明設備2階平面図	M- 015	空気調和設備 機械室詳細図(1)		
A- 016	付近見取図・配置図	A- 071	プール詳細図 その6	S- 016	南棟屋根伏図	E- 016	非常照明・誘導灯設備1階平面図	M- 016	空気調和設備 機械室詳細図(2)		
A- 017	ビット平面図	A- 072	プール詳細図 その7	S- 017	北棟屋根伏図	E- 017	非常照明・誘導灯設備2階平面図	M- 017	空気調和設備 自動制御 集中管理システム図		
A- 018	1階平面図	A- 073	プール詳細図 その8	S- 018	軸組図 その1	E- 018	弱電設備系統図(1)	M- 018	空気調和設備 自動制御 計装図(1)		
A- 019	2階平面図	A- 074	プール詳細図 その9	S- 019	軸組図 その2	E- 019	弱電設備系統図(2)	M- 019	空気調和設備 自動制御 計装図(2)		
A- 020	屋根伏図	A- 075	プール詳細図 その10	S- 020	軸組図 その3	E- 020	弱電設備機器姿図(1)	M- 020	空気調和設備 自動制御 計装図(3)		
A- 021	立面図 その1	A- 076	プール詳細図 その11	S- 021	軸組図 その4	E- 021	弱電設備機器姿図(2)	M- 021	空気調和設備 自動制御 計装図(4)		
A- 022	立面図 その2	A- 077	プール詳細図 その12	S- 022	軸組図 その5	E- 022	弱電設備1階平面図(1) (放送・TV・時計・トイレ呼出・インターホン・IT設備)	M- 022	空気調和設備 自動制御 1階平面図		
A- 023	断面図 その1	A- 078	プール詳細図 その13	S- 023	軸組図 その6	E- 023	弱電設備2階平面図(1) (放送・TV・時計・トイレ呼出・インターホン・IT設備)	M- 023	空気調和設備 自動制御 2階平面図		
A- 024	断面図 その2	A- 079	プール詳細図 その14	S- 024	杭・基礎リスト	E- 024	弱電設備1階平面図(2) (電話・情報・防犯設備)	M- 024	空気調和設備 床暖房設備 機器図		
A- 025	矩計図 その1	A- 080	プール詳細図 その15	S- 025	基礎梁リスト	E- 025	弱電設備2階平面図(2) (電話・情報・防犯設備)	M- 025	空気調和設備 床暖房設備 ヒーター敷設図		
A- 026	矩計図 その2	A- 081	プール詳細図 その16	S- 026	柱リスト	E- 026	自動火災報知設備系統図	M- 026	給排水衛生設備 配置図		
A- 027	矩計図 その3	A- 082	プール詳細図 その17	S- 027	大梁リスト	E- 027	自動火災報知設備1階平面図	M- 027	給排水衛生設備 機器一覧表、衛生器具表		
A- 028	矩計図 その4	A- 083	プール詳細図 その18	S- 028	小梁、間柱リスト	E- 028	自動火災報知設備2階平面図	M- 028	給排水衛生設備 系統図、凡例		
A- 029	矩計図 その5	A- 084	エレベーター詳細図	S- 029	鉄骨部材リスト			M- 029	給排水衛生設備 ビット平面図		
A- 030	標準詳細図 その1	A- 085	電動ロールスクリーン詳細図	S- 030	鉄骨継手表			M- 030	給排水衛生設備 1階平面図		
A- 031	標準詳細図 その2	A- 086	仮設計画図(参考)	S- 031	架構配筋図			M- 031	給排水衛生設備 2階平面図		
A- 032	標準詳細図 その3			S- 032	雑配筋図 その1			M- 032	給排水衛生設備 平面詳細図(1)		
A- 033	標準詳細図 その4	外 構		S- 033	雑配筋図 その2			M- 033	給排水衛生設備 平面詳細図(2)		
A- 034	標準詳細図 その5	図面番号	図 面 名 称	S- 034	鉄骨詳細図 その1			M- 034	給排水衛生設備 平面詳細図(3)		
A- 035	標準詳細図 その6		【 外 構 図 】	S- 035	鉄骨詳細図 その2			M- 035	給排水衛生設備 平面詳細図(4)		
A- 036	標準詳細図 その7	G- 001	外構計画平面図	S- 036	鉄骨詳細図 その3			M- 036	給排水衛生設備 受水槽 詳細図		
A- 037	部分詳細図 その1	G- 002	舗装計画平面図	S- 037	鉄骨詳細図 その4			M- 037	給排水衛生設備 ろ過設備 系統図・機器表(1)		
A- 038	部分詳細図 その2	G- 003	植栽計画平面図	S- 038	駐車場、渡り廊下、駐輪場詳細図			M- 038	給排水衛生設備 ろ過設備 系統図・機器表(2)		
A- 039	部分詳細図 その3	G- 004	排水計画平面図					M- 039	給排水衛生設備 ろ過設備 系統図・機器表(3)		
A- 040	部分詳細図 その4	G- 005	造成断面図					M- 040	給排水衛生設備 ろ過装置 操作盤図(1)		
A- 041	部分詳細図 その5	G- 006	外構詳細図					M- 041	給排水衛生設備 ろ過装置 操作盤図(2)		
A- 042	部分詳細図 その6	G- 007	擁壁詳細図 その1					M- 042	給排水衛生設備 ろ過装置 操作盤図(3)		
A- 043	屋内階段A・昇降機廻り詳細図	G- 008	擁壁詳細図 その2					M- 043	給排水衛生設備 ろ過設備 配置図・配管図		
A- 044	共用部廻り展開図	G- 009	擁壁展開図 その1					M- 044	給排水衛生設備 ろ過設備 二次側電気図		
A- 045	1階 管理室、エントランスホール廻り詳細図 その1	G- 010	擁壁展開図 その2					M- 045	給排水衛生設備 プールシャワー詳細図		
A- 046	1階 管理室、エントランスホール廻り詳細図 その2	G- 011	擁壁展開図 その3					M- 046	給排水衛生設備 浄化槽設備図(1)		
A- 047	1階 管理室、エントランスホール廻り詳細図 その3	G- 012	雨水貯留槽詳細図 その1					M- 047	給排水衛生設備 浄化槽設備図(2)		
A- 048	1階 更衣室廻り詳細図 その1	G- 013	雨水貯留槽詳細図 その2					M- 048	給排水衛生設備 浄化槽設備配管図		
A- 049	1階 更衣室廻り詳細図 その2	G- 014	庇C・D 詳細図					M- 049	給排水衛生設備 浄化槽設備電気図		
A- 050	1階 更衣室廻り詳細図 その3	G- 015	駐輪場 詳細図					M- 050	機械設備構造詳細図		
A- 051	1階 更衣室廻り詳細図 その4	G- 016									
A- 052	1階 会議室、休憩室廻り詳細図 その1	G- 017									
A- 053	2階 トレーニング室廻り詳細図 その1	G- 018									
A- 054	2階 トレーニング室廻り詳細図 その2	G- 019									
A- 055	2階 トレーニング室廻り詳細図 その3	G- 020									

設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 A-001
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	一級建築士 NO.286010 小柳 英治	担当	図面名称 目次 縮尺 A1: - A3: -	

章	項目	特記事項		⑧ 施工条件明示項目 ○ 施工時間 (8:00 - 18:00) (1.3.5) ・その他の条件()	⑨ 技能士 (1.5.2) 工事種目 技能検定の職種 技能検定作業 仮設工事 とび ○とび作業 鉄筋工事 鉄筋施工 ○鉄筋組立て作業 コンクリート工事 型枠施工 ○型枠工事作業 コンクリート圧送施工 ・コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 とび ・とび作業 ブロック(ＣＢ) ブロック建築 ・CB工事作業 ALCパネル工事 ALCパネル施工 ・ALCパネル工事作業 防水工事 防水施工 ○アスファルト防水工事作業 ○ウレタンゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニール系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○シーリング系防水工事作業 ・改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 石材施工 ・石張り作業 タイル工事 タイル張り ・タイル張り作業 木工事 建築大工 ・大工工事作業 屋根及びとい工事 建築板金 ○内外装板金作業 建築板金 ○内外装板金作業 左官工事 左官 ○左官作業 建具工事 サッシ施工 ○サッシ施工 ガラス施工 ○ガラス施工 自動ドア施工 ・自動ドア施工 ガラス用フィルム施工 ・建築フィルム作業 カーテンウォール工事 カーテンウォール施工 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 塗装工事 塗装 ○建築塗装作業 内装工事 内装仕上げ施工 ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード系床仕上げ工事作業 ○壁装作業 排水工事 配管 ・建築配管作業 舗装工事 路面表示施工 ・溶融ペイントマーカール工事作業 ・加熱ペイントマーカール工事作業 植栽工事 造園 ・造園工事作業	⑩ 工事写真等 (1.2.4) 下記より工事写真・竣工写真を撮影し、提出する。 撮影時期 撮影箇所 規格 提出方法 工事着手前 ○敷地の状況 (適宜) A4サイズ カラー印画紙 ○周囲建物の状況 (適宜) フルカラー A4ファイル 2部 ○監督職員の指示する箇所 工事中 ○各配筋完了時 A4サイズ カラー印画紙 ○各工事の工程に応じ監督職員 フルカラー A4ファイル 2部 と協議する 竣工時 ○内部 監督職員の指示(25) キャビネ アルバム 3部 ○外部 監督職員の指示(30) フルカラー バラ 2部 ○航空 監督職員の指示(5) DVD-ROM 2部 竣工写真の撮影は、デジタルカメラ2000万像素以上とし、撮影アングルは監督職員の指示による。 竣工アルバムは、印画紙(銀塩プリント)を使用し、出力解像度は、原寸の300dpi以上とする。製本方法は、印画紙の裏面同紙を貼り付けた中折れ包み製本、又はフォトブック(SS・A-book同等のアルバム)とする。 竣工写真の電子データ(DVD-ROM)の提出形式 内部、外部及び航空写真の内部、監督職員の指示する主要なカットは、A3サイズ(長辺4960pixel)のTIFF形式及びJPEG形式(圧縮最高画質)とし、その他のカットは、キャビネサイズ(長辺2880pixel)のTIFF形式及びJPEG形式(圧縮最高画質)とする。 竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。 竣工写真の著作権の権利等について、工事受注者は撮影者との契約にあたって以下の事項を条件とすること。 1. その成果物が「写真の著作物」に該当するかの有無にかかわらず、発注者、設計者、施工者が社内広報誌、業界誌への掲載及び関係取引先への頒布、広報など社内外へ公表することに対してその利用を無償許諾すること。 2. 設計者の承諾を得た場合以外場合は以下の行為をしてはならない。 写真の著作物に該当した場合でも、著作権者人格権を行使しないこと。 3. 竣工写真を第三者に閲覧させ、複製させ、又は譲渡してはならない。 竣工写真撮影業者 ○建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者																		
		① 適用	② 優先順位				③ 適用基準等	④ 工事実績情報 サービスへの登録 (コリンズ(CORINNS))	⑤ 設計図書の取扱い	⑥ 品質計画	⑦ 電気保安技術者	⑪ 発生材の処理等 発注者に引渡しを要するもの(1.3.11) 特別管理産業廃棄物の有無(処理方法) ・有 ・無 処理方法について特段の指定がない場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」並びに関連法令に従い適正処理を行うものとし、事前に処理計画を提出し、監督職員の承諾を得ること。 再利用及び再生資源化を図るもの() 建設リサイクル法「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の対象となる建設工事では、工事着手7日前までに分別解体等の計画について都道府県知事に届出を行う。 材料、機器材等の品質及び性能(1.4.2) 1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合監督職員の承諾を受ける。 3) 本工事に使用する材料のうち、4)に指定する材料の製造業者等は、次の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 安定的な供給が可能であること。 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 製造または施工の実績あり、その信頼性があること。 販売、保守等の営業体制が整えていること。 4) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料	⑫ 化学物質を放散する 建築材料等	⑬ 特別な材料の工法 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 監督職員の指示するものについては品質・性能保証書を提出すること。 官房官庁営繕部制定)及び「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説	⑭ 安全に関する資料 提出部数 ()部 (1.7.3)									
1 一 般 共 通 事 項	① 適用 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)」、(以下、「標仕」という。)による。 (2) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (5) 製造所名は、順不同とし「株式会社」等の記載は省略する。 また「 」内は製品名を示す。 (6) 標準仕様書に規定する事項は、受注者の責任において履行すること。 設計図書の優先順位は下記による。(1.1.1) (1) 質疑回答書(2)～(5)までに対するもの (2) 特記仕様書 (3) 図面 (4) 標準仕様書 (5) 上記いずれも記載なき場合、不明の場合は監督職員の指示による。	② 優先順位 (1.1.1)	③ 適用基準等 ・ 営繕工事写真撮影要領(平成31年度版) ・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)(昇降機設備工事)	④ 工事実績情報 サービスへの登録 (コリンズ(CORINNS))	⑤ 設計図書の取扱い (1.1.6)	⑥ 品質計画 (1.2.2)	⑦ 電気保安技術者 (1.3.3)	⑧ 施工条件明示項目 (1.3.5)	⑨ 技能士 (1.5.2)	⑩ 工事写真等 (1.2.4)	⑪ 発生材の処理等 (1.3.11)	⑫ 化学物質を放散する 建築材料等	⑬ 特別な材料の工法	⑭ 安全に関する資料 (1.7.3)	⑮ 仮設 工事 (1.5.5)	⑯ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	⑰ 完成図等 (1.7.1-2)(表1.7.1)	⑱ 監督職員事務所 (2.3.1)	⑳ 工事用水	㉑ 電気保安技術者 (1.3.3)	㉒ 仮設 工事 (1.5.9)	㉓ 完成図等 (1.7.1-2)(表1.7.1)	㉔ 監督職員事務所 (2.3.1)	㉕ 工事用水
				⑧ 施工条件明示項目 (1.3.5) ○ 施工時間 (8:00 - 18:00) ・その他の条件()		⑥ 品質計画 (1.2.2)		⑦ 電気保安技術者 (1.3.3)	⑨ 技能士 (1.5.2)	⑩ 工事写真等 (1.2.4)	⑪ 発生材の処理等 (1.3.11)	⑫ 化学物質を放散する 建築材料等	⑬ 特別な材料の工法	⑭ 安全に関する資料 (1.7.3)	⑮ 仮設 工事 (1.5.5)	⑯ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)	⑰ 完成図等 (1.7.1-2)(表1.7.1)	⑱ 監督職員事務所 (2.3.1)	⑳ 工事用水	㉑ 電気保安技術者 (1.3.3)	㉒ 仮設 工事 (1.5.9)	㉓ 完成図等 (1.7.1-2)(表1.7.1)	㉔ 監督職員事務所 (2.3.1)	㉕ 工事用水

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 A-003
	一級建築士 NO. 286010 小柳 英治	担当		図面名称 特記仕様書 その1 縮尺 A1: - A3: -	

<p>2 セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>③有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>④床用タイルの防滑性</p>	<p>役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする)</p> <p>タイルの見本焼き ※行わない ・行う(種類)</p> <p>タイルの試験張り ※行わない ・行う</p> <p>外装壁タイルの地下及びタイルごしらえ (11.2.7)(表11.2.3)</p> <p>※目荒し工法(超高压洗浄(150MPa程度))</p> <p>・剥落防止工法</p> <p>・コン状係止部材及び短繊維混入モルタル併用工法</p> <p>・先付け特殊繊維シート工法(ウェプホーム工法)</p> <p>内装壁タイル張り工法 ・改良積上げ張り</p> <p>外装壁タイル張りの工法</p> <p>・モザイクタイル張り ・改良積上げ張り</p> <p>・マスク張り ・改良圧着張り ・密着張り</p> <p>既製合モルタル ・使用する</p> <p>施工箇所</p> <p>◎内装壁タイル (11.3.7)(表11.3.2)</p> <p>◎外装壁タイル</p> <p>外装壁タイルの地下及びタイルごしらえ (表6.2.4 表6.2.5)</p> <p>・標仕15.3.5(4)(イ)(b)による</p> <p>但しコンクリート打放し仕上げは、B種としコンクリートの仕上げが平坦さは、a種の上目荒し工法(超高压洗浄150MPa程度)とする</p> <p>◎タイル製造所による標準工法(有機系下地調整材)</p> <p>コンクリート打放し仕上げB種とし、コンクリートの仕上げが平坦さは、a種の上目荒し工法(高压洗浄50MPa程度)とする</p> <p>外装壁タイルの目地詰め ※行う ・行わない</p> <p>施工記録の提出</p> <p>工事完成時には定期報告用の下配各施工記録を提出する</p> <p>施工記録一覧、仕上表、下地補修範囲図、下地確認、タイル張りプロセス検査、引張検査記録図、工事写真、外観目視・打診検査及び張替え範囲図</p> <p>耐滑り性試験値(JIS A 1509 : CSR値)等のデータを監督職員に提出し、承認を得ること。</p>	<p>5 造作用単板積層材</p> <p>(12.2.1(3))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>区分</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>造作用集成材</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧ばり造作用集成材</td> <td>芯材：</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧ばり構造用集成柱</td> <td>芯材：</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧：</td> <td>化粧薄板厚：</td> </tr> </table> <p>※単板積層材の日本農林規格による。(12.2.1(4))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の加工</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>天然木化粧加工</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装加工</td> <td>—</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無(等級：)</td> <td>—</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>防虫処理： ※行う ・行わない</p> <p>・単板積層材の日本農林規格以外による。(12.2.1(4))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の加工</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td>天然木化粧加工</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装加工</td> <td>—</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無(等級：)</td> <td>—</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>6 直交集成板(CLT)</p> <p>直交集成板の仕様書による。(12.2.1(5))</p> <p>◎下地用普通合板(合板の日本農林規格)(12.2.1(6))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>単板の樹種</th> <th>厚さ</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・1級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・2級</td> </tr> </table> <p>保存処理：</p> <p>防虫処理： ※行う ・行わない</p> <p>・化粧ばり構造用合板(合板の日本農林規格)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>単板の樹種</th> <th>厚さ</th> <th>接合強度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・特類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・2類</td> </tr> </table> <p>防虫処理： ※行う ・行わない</p> <p>◎天然木化粧合板(合板の日本農林規格)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧単板の樹種</th> <th>厚さ</th> <th>接合強度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td>・2類</td> </tr> </table> <p>◎特殊加工化粧合板(合板の日本農林規格)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>厚さ</th> <th>接合強度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>合成樹脂化粧合板(木目)</td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合成樹脂化粧合板(塗装)</td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>プリント合板</td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特殊シート化粧合板</td> <td>※図示</td> <td>・1類</td> </tr> </table>	施工箇所	区分	樹種	寸法		造作用集成材		※図示		化粧ばり造作用集成材	芯材：	※図示		化粧ばり構造用集成柱	芯材：	※図示			化粧：	化粧薄板厚：	施工箇所	表面の加工	樹種	厚さ		天然木化粧加工		※図示		塗装加工	—	※図示		無(等級：)	—	※図示	施工箇所	表面の加工	樹種	厚さ		天然木化粧加工		※図示		塗装加工	—	※図示		無(等級：)	—	※図示	施工箇所	単板の樹種	厚さ	強度等級			※図示	・1級			※図示	・2級	施工箇所	単板の樹種	厚さ	接合強度			※図示	・特類			※図示	・1類			※図示	・2類	施工箇所	化粧単板の樹種	厚さ	接合強度			※図示	・1類			※図示	・2類	施工箇所	化粧加工の方法	厚さ	接合強度		合成樹脂化粧合板(木目)	※図示	・1類		合成樹脂化粧合板(塗装)	※図示	・1類		プリント合板	※図示	・1類		特殊シート化粧合板	※図示	・1類	<p>9 防虫処理</p> <p>防虫処理 ・行う(施工箇所：)</p> <p>(12.3.2)</p> <p>10 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組</p> <p>間仕切軸組の木材 ・</p> <p>(12.4.1)(表12.4.1)</p> <p>床組(一般部) ・</p> <p>床組(土間スラブ部) ・</p> <p>⑬ 屋根及びびとい工事</p> <p>⑭ 長尺金属板葺</p> <p>(13.2.2~3)(表13.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>屋根葺形式・工法</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>板厚(mm)</th> </tr> <tr> <td>・横葺き工法</td> <td>※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金</td> <td>・0.4mm以上</td> </tr> <tr> <td>◎縦葺き工法</td> <td>めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・パネル工法</td> <td>・塗装ステンレス鋼板(及び鋼帯JIS G 3320)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・瓦葺き工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・平葺き工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>塗装の種類 ◎フッ素樹脂塗装 ・アクリル樹脂塗装</p> <p>下葺材料 ◎製造所指定材料</p> <p>・アスファルトルーフィング940</p> <p>◎改質アスファルトルーフィング下葺材</p> <p>(一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ)</p> <p>断熱材 ◎製造所指定材料 ・発泡ポリエチレンシート</p> <p>屋根耐火性能： 30分耐火性能</p> <p>熱膨張対策 ◎行う(製造所指定工法) ・行わない</p> <p>雪止め対策 ・設置する(図示) ◎設置しない</p> <p>屋根防水性能保証(製造所・施工者連名保障)： 10年</p> <p>製造所： 元且ビューティ工業「スフィンクスルー6型」同等品</p> <p>(13.3.2~3)(表13.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>※重ね形</th> <th>・はげ締め形</th> <th>・かん合形</th> </tr> <tr> <th>形状(mm)</th> <th>山高()</th> <th>山ピッチ()</th> <th>板厚 ※0.6・0.8</th> </tr> </table> <p>材料</p> <p>※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</p> <p>軒先戸板 ※有り ・無し</p> <p>断熱材 ※有り(種別：製造所指定材料 厚さ： mm) ・無し</p> <p>耐火性能 ※30分耐火 ・無し</p> <p>塗装の種類 ・フッ素樹脂塗装 ・</p> <p>屋根防水性能保証(製造所・施工者連名保障)： 年</p> <p>熱膨張対策 ・行う(製造所指定工法) ・行わない</p> <p>製造所：</p> <p>材種 (13.5.2)(表13.5.1)</p> <p>たてどい及び横走り管</p> <p>◎配管用鋼管(白管) ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ステンレス管</p> <p>・耐火二層管 ・アルミニウム合金押出型材 ・</p> <p>鋼管製との防露巻 ※標仕13.5.4による。(13.5.3)(表13.5.3~4)</p> <p>掃除口 ※有り ・無し (表13.5.3)</p> <p>軒どい ・硬質塩化ビニル ・表面処理鋼板() (表13.5.1~2)</p> <p>種別 (13.5.3)</p> <p>◎ルーフトレンドレ(◎たて型 ◎よこ型) ・フロアドレンドレ ・中継ドレンドレ</p> <p>材種 ※鋼鉄製 ・ステンレス製 ・</p> <p>⑭ 金属工事</p> <p>⑰ 一般事項</p> <p>※ステンレス鋼板は、図中特記以外はSUS304とする。(14.1.3)</p> <p>◎金属板の曲げ加工端部処理</p> <p>※原則として四周とも折り曲げ(小口部蓋付)とする。</p> <p>・</p> <p>◎外装金属板の裏面結露防止措置</p> <p>※行う(仕様：)</p> <p>・金属板の継目処理</p> <p>屋内</p> <p>※目地棒(材質ステンレス) ・</p> <p>・空目地 ・シーリング ・</p> <p>屋外</p> <p>※シーリング ・</p> <p>・見本の製作</p> <p>※行う(適用箇所：)</p> <p>8 防蟻・防蟻処理</p> <p>防蟻・防蟻処理 ・行う(施工箇所：)</p> <p>(12.3.1)</p> <p>・薬剤加圧注入による処理</p> <p>保存処理区分 ・K2 ・K3 ・K4</p> <p>・薬剤塗布による処理</p> <p>・薬剤接着剤混入による処理</p> <p>・合板等の加圧注入による処理</p>	屋根葺形式・工法	長尺金属板の種類	板厚(mm)	・横葺き工法	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金	・0.4mm以上	◎縦葺き工法	めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)	・	・パネル工法	・塗装ステンレス鋼板(及び鋼帯JIS G 3320)		・瓦葺き工法			・平葺き工法			形式	※重ね形	・はげ締め形	・かん合形	形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ※0.6・0.8	<p>⑮ ステンレスの表面仕上げ</p> <p>◎あと施工アンカーの引抜き耐力確認試験</p> <p>※行う(適用箇所：)</p> <p>(14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td>※H L程度</td> <td>下記以外の見え掛り部すべて</td> </tr> <tr> <td>・No.2目程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑯ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <p>(14.2.2)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・BB-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種(・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種(屋内 ・無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種(屋内 ・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎C種(フッ素) 樹脂系塗装</p> <p>() コート() ベーク</p> <p>塗膜厚(µm)</p> <p>・メタリック色 ・ソリッド色</p> <p>(14.2.3)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑰ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>野縁などの種類 (14.4.2~4)(表14.4.1~2)</p> <p>屋内 ※19型 ・25型</p> <p>屋外 ・19型 ※25型(耐風圧型)</p> <p>天井下地材</p> <p>◎JIS A 6517(建築用鋼製下地材(壁・天井))</p> <p>◎ステンレス製(SUS304)(適用箇所：前室4,強制シャワーシャワー室,多目的更衣室)</p> <p>◎溶融亜鉛-7μm-Mg 90%合金めっき(適用箇所：前室1,2,プール室)</p> <p>天井下地材脱落防止処置(特定天井以外の一般部)</p> <p>・ビス止めハンガー、ビス止めクリップ(適用箇所：)</p> <p>天井のふとところq3mを超える場合の補強</p> <p>・図示(適用箇所：)</p> <p>天井下地材の耐震性を考慮した補強</p> <p>・一区画の面積が大きいまたは不整形な天井</p> <p>・水平でない天井</p> <p>・質量が20Kg/m²を超える天井(天井下地材を含む)</p> <p>(適用箇所：)</p> <p>(仕様 ※図示)</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強</p> <p>・行う(適用箇所：)</p> <p>(仕様 ※図示)</p> <p>耐震性能</p> <p>設計用地震力 KH=1.0 Ky=0.5</p> <p>天井及び取付機器類に落下、脱落を生じさせないこと。</p> <p>耐風圧性能</p> <p>設計用風圧力は建築基準法施工令第87条及び建設省告示第1454号に定められたものとする。但し、最小風圧力は±2000Paとする。</p> <p>特定天井(国土交通省告示第771号に基づく)</p> <p>・行う(適用箇所：)</p> <p>(仕様 ※図示)</p> <p>⑰ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>スタッド、ランナー材 (14.5.2)</p> <p>◎JISA6517(建築用鋼製下地材(壁・天井))</p> <p>◎ステンレス製(SUS304)(適用箇所：前室4)</p> <p>◎溶融亜鉛-7μm-Mg 90%合金めっき(適用箇所：前室1,2,プール室)</p> <p>スタッド、ランナーなどの種類 (14.5.3)(表14.5.1)</p> <p>※標仕14.5.1による。</p> <p>・</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合の補強 ※図示 ・</p>	種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	※H L程度	下記以外の見え掛り部すべて	・No.2目程度		・鏡面仕上げ		・		種別	施工箇所	・BB-1種(無着色)		・BB-2種(・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)		・BC-1種(屋内 ・無着色)		・BC-2種(屋内 ・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)		表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		◎C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種		<table border="1"> <tr> <td>設計番号 20170253</td> <td>作成日 2021.03</td> <td>種別/備考</td> <td>工事名称 余熱利用施設建設工事</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td>一級建築士 NO.286010</td> <td>担当</td> <td></td> <td>図面名称</td> <td rowspan="2">A-005</td> </tr> <tr> <td>小柳 英治</td> <td></td> <td></td> <td>特記仕様書 その3 縮尺 A1:- A3:-</td> </tr> </table> <p>株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号	一級建築士 NO.286010	担当		図面名称	A-005	小柳 英治			特記仕様書 その3 縮尺 A1:- A3:-
施工箇所	区分	樹種	寸法																																																																																																																																																																																															
	造作用集成材		※図示																																																																																																																																																																																															
	化粧ばり造作用集成材	芯材：	※図示																																																																																																																																																																																															
	化粧ばり構造用集成柱	芯材：	※図示																																																																																																																																																																																															
		化粧：	化粧薄板厚：																																																																																																																																																																																															
施工箇所	表面の加工	樹種	厚さ																																																																																																																																																																																															
	天然木化粧加工		※図示																																																																																																																																																																																															
	塗装加工	—	※図示																																																																																																																																																																																															
	無(等級：)	—	※図示																																																																																																																																																																																															
施工箇所	表面の加工	樹種	厚さ																																																																																																																																																																																															
	天然木化粧加工		※図示																																																																																																																																																																																															
	塗装加工	—	※図示																																																																																																																																																																																															
	無(等級：)	—	※図示																																																																																																																																																																																															
施工箇所	単板の樹種	厚さ	強度等級																																																																																																																																																																																															
		※図示	・1級																																																																																																																																																																																															
		※図示	・2級																																																																																																																																																																																															
施工箇所	単板の樹種	厚さ	接合強度																																																																																																																																																																																															
		※図示	・特類																																																																																																																																																																																															
		※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
		※図示	・2類																																																																																																																																																																																															
施工箇所	化粧単板の樹種	厚さ	接合強度																																																																																																																																																																																															
		※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
		※図示	・2類																																																																																																																																																																																															
施工箇所	化粧加工の方法	厚さ	接合強度																																																																																																																																																																																															
	合成樹脂化粧合板(木目)	※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
	合成樹脂化粧合板(塗装)	※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
	プリント合板	※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
	特殊シート化粧合板	※図示	・1類																																																																																																																																																																																															
屋根葺形式・工法	長尺金属板の種類	板厚(mm)																																																																																																																																																																																																
・横葺き工法	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金	・0.4mm以上																																																																																																																																																																																																
◎縦葺き工法	めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)	・																																																																																																																																																																																																
・パネル工法	・塗装ステンレス鋼板(及び鋼帯JIS G 3320)																																																																																																																																																																																																	
・瓦葺き工法																																																																																																																																																																																																		
・平葺き工法																																																																																																																																																																																																		
形式	※重ね形	・はげ締め形	・かん合形																																																																																																																																																																																															
形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ※0.6・0.8																																																																																																																																																																																															
種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																																																																																																																																																																																	
※H L程度	下記以外の見え掛り部すべて																																																																																																																																																																																																	
・No.2目程度																																																																																																																																																																																																		
・鏡面仕上げ																																																																																																																																																																																																		
・																																																																																																																																																																																																		
種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																	
・BB-1種(無着色)																																																																																																																																																																																																		
・BB-2種(・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)																																																																																																																																																																																																		
・BC-1種(屋内 ・無着色)																																																																																																																																																																																																		
・BC-2種(屋内 ・P ラク系 ・P ラック ・スチナー)																																																																																																																																																																																																		
表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																																																																																																																																																																																
溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																																																																																																	
	・B種																																																																																																																																																																																																	
	◎C種																																																																																																																																																																																																	
電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																																																																																																	
	・E種																																																																																																																																																																																																	
	・F種																																																																																																																																																																																																	
設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号																																																																																																																																																																																														
一級建築士 NO.286010	担当		図面名称	A-005																																																																																																																																																																																														
小柳 英治			特記仕様書 その3 縮尺 A1:- A3:-																																																																																																																																																																																															

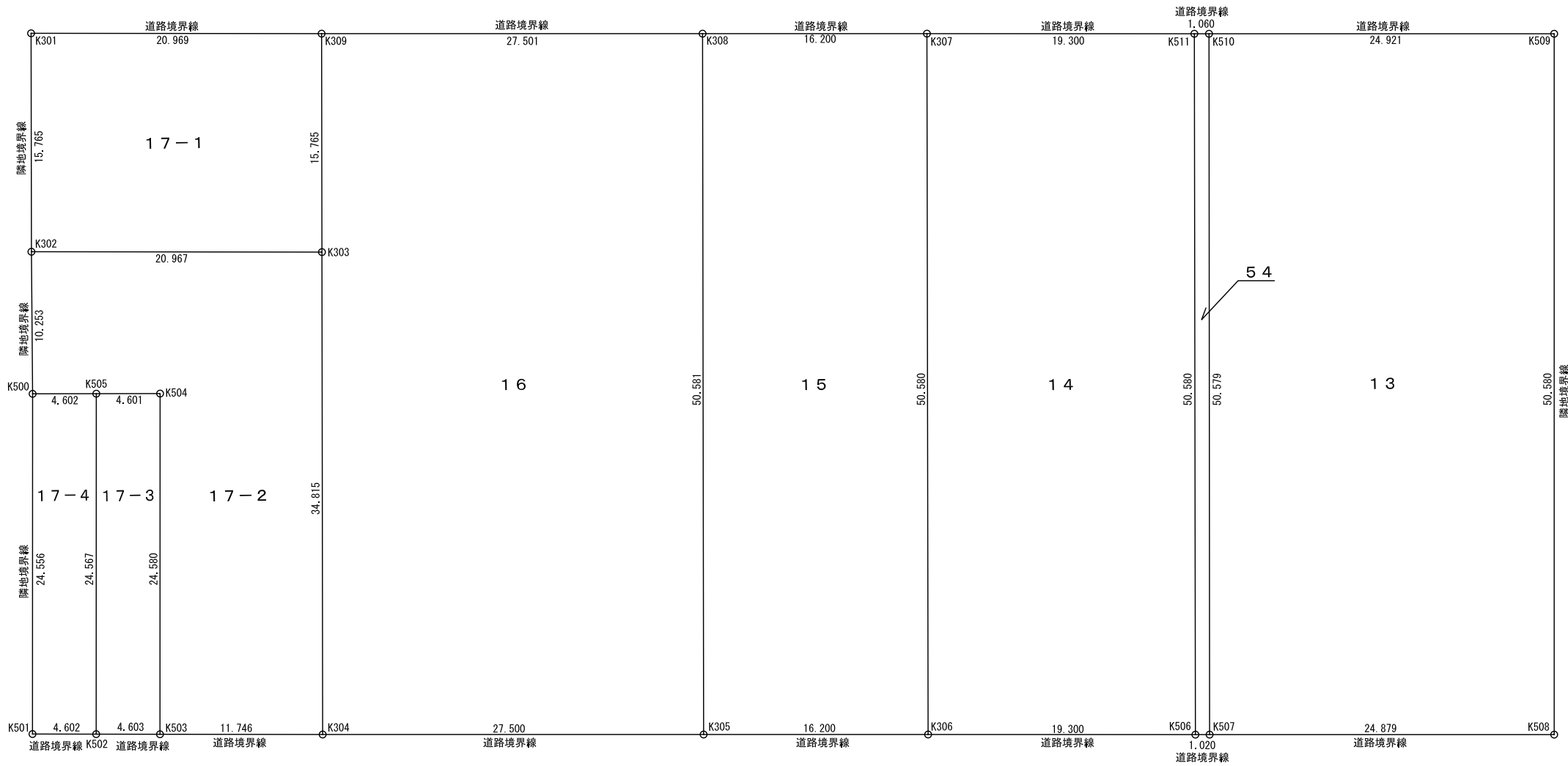
14 金属 工事	①金属成形板張り	(14.6.2~3) (表14.2.1)					5 仕上塗材仕上げ	仕上塗材の種類 (15.6.2) (表15.6.1)		
	形状	製法	材種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理		名称	呼び名	仕上げの形状・工法
	○スバンドレル形	・押し出し	※アルミニウム製			・BB-1種 ・BB-2種()		・	・	・
⑧アルミニウム製 笠木	・パネル形	※プレス	○金属板A			・BC-1種 ・BC-2種()	製造所:			
	伸縮調整継手 ※設けない ・設ける(施工箇所 ※図示)						防火材料の指定			
	金属板A: 塗装溶融55%Zn-ニッケル-亜鉛付鋼板 t=0.5角波(18×25)加工 製造所: 淀川製鋼所「ヨドスパンYSK-1K型」 同等品						※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。			
⑨手すり及び タラップ	スバンドレルB: 外壁耐火下地パネルt45+透湿防水シート+金属板A張り 下地鋼線 C-100x50x20 t2.3 @600 外壁耐火下地パネル製造所: 旭化成建材「材質パンウォールt45」 同等品						複層仕上塗材の上塗材の種類 (表15.6.2)			
	スバンドレルB: 透湿防水シート+金属板A張り 下地鋼線 C-100x50x20 t2.3 @600						種別 ・A種 ・B種 (15.7.2) (表15.7.1)			
	種 類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定方法・間隔	備 考		製造所:			
10 屋上丸環	・250形	1.6以上	・BB-1種	笠木本体製作所の	隅角部及び突当た		工法: 半湿式 厚さ: t25 (15.12.2) (表15.12.1)			
	・300形	1.8以上	・BB-2種	仕様による	り部等の役物は本体					
	・350形	2.0以上			製造所の仕様による。					
⑩左 官 工事	1 下地	・ラス系下地 (15.2.4)					⑩ 1 性能	耐風圧性能 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)		
	・通気工法(外壁通気構造下地)					※建築基準法施行令第87条及び建設省告示1454号に定められた風圧力に対して安全であること				
	・直張り工法					・正圧 N/m ² 以上および負圧 N/m ² 以上に対して安全であること。				
②モルタル塗り	・ラスモルタル下地						主要部材のたわみ(ガラスを除く)			
	・ラスシートモルタル下地						支点間距離(h)	たわみ量	状態	
	・その他						※4m以下	※±(1/150)×h	※各部の破損、残留変形有害かつ絶対量20mm以下	
③床コンクリートの 直直し仕上げ	ラス下地板、下地用合板、面材等の下地の仕様						※4mを超える	・	・	
	建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定						耐震性能	設計用震度	水平方向(KH) ※1.0	
	・有(図示による) ・無							鉛直方向(KV) ※0.5		
4 セルフレベリング 材塗り	・せっこうボード、その他ボード下地						層間変位追従性			
	モルタル塗り材料						建築物の構造種別	層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態	
	※現場調合材料 ・既調合材料						鉄骨造	※±(1/100)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な	

3 PCカーテンウォール	断熱材	※適用しない ・適用する (材質、形状、施工箇所は図示による) (17.2.2)		
	製品の寸法許容差	※標準仕表17.2.1による ・製作所標準製作規定寸法許容差による。		
	アルミニウムの表面処理 (表14.2.1)	種 別	表面処理	JIS番号
⑬ 塗装 工事	①材料	屋内に使用する塗料は、原則水性系のものとする。 (18.1.3)		
	②素地こしらえ	(18.2.2~7) (表18.2.2~7)		
	下地面等	種 別		
⑭ 内 装 工 事	①ビニル床シート張り	(19.2.2)		
	共用部→	FS-A	※免泡層無し	※FS・TS ・無地 ○柄物
	WC1・更衣室→	FS-B	※FS・TS ・無地 ○マーブル	※2.0 ・ 防滑 消臭 防汚 抗菌・防カビ
⑮ 断熱材	フルール	FS-D	※FS・TS ・無地 ○タイル調	※2.0 ○3.0
	バックウ	FS-E	※FS・TS ・無地 ○マーブル	※2.0 ・
	※免泡層有り	※HS ・KS	・無地 ・柄物	・
⑯ 断熱材	ガラス	※ALC/パネル面		
	石、タイル	・A種 ・B種 ※C種		
	ガラス ガラス	・A種 ・B種		
⑰ 断熱材	モルタル面及びプラスター面	・A種 ・B種		
	コンクリート面 (DP塗り以外) 及びALC/パネル面	・A種 ・B種		
	押出成形セメント板及びコンクリート面 (DP塗りの場合)	・A種 ・B種		
⑱ 断熱材	せっこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※A種 ・B種	
	その他面	目地: 継目処理工法以外	・A種 ・B種	
	設計番号	20170253	作成日	2021.03
株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	一級建築士 NO. 286010	担当		
	小柳 英治			
	種別/備考			

⑲ 断熱材	①ビニル床シート張り	(19.2.2)				
	名称	種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)	備考
	KT-A	※コンポジション ビニル床タイル	KT	・無地 ・柄物	※300×300 ・	※2.0 ○3.0
⑳ 断熱材	KT-A	※コンポジション ビニル床タイル	KT	・無地 ・柄物	※300×300 ・	・
	KT-B	※コンポジション ビニル床タイル	TT	・無地 ・柄物	※300×300 ・	・
	KT-C	※コンポジション ビニル床タイル	FT	・無地 ・柄物	※300×300 ・	・
㉑ 断熱材	KT-D	※コンポジション ビニル床タイル	FOA	・無地 ・柄物	※500×500 ・	※4.0以上 ・
	KT-E	※コンポジション ビニル床タイル	FOB	・無地 ・柄物	※500×500 ・	※4.0未満 ・
	製造所: KT-A 東リ「ビエスタ」	同等品				
㉒ 断熱材	工事名称	余熱利用施設建設工事				
	図面名称	特記仕様書 その4 縮尺 A1: - A3: -				
	図面番号	A-006				

設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	
一級建築士 NO. 286010	小柳 英治	担当		工事名称	余熱利用施設建設工事
				図面名称	特記仕様書 その4 縮尺 A1: - A3: -
				図面番号	A-006

47	ピクチャーレール 設置場所：図示による アルミ製 天井見切縁兼用吊りレール フック1m当たり1箇所とする(荷重30kg対応) 製造所：ナスタ「KS-PCR40A」 又は同等品	21 排水工事	1 屋外雨水排水 排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.2.2) 材種 管の種類 管形状(接合方法) 遠心力鉄筋コンクリート管 外圧管 B形管(ゴム接合) (1種・2種) (類) 硬質ポリ塩化ビニル管 VP・RS-VU 接着受口付片受直管 ・U 接着受口付片受直管 類A ・硬質ポリ塩化ビニル管継手 DV・VU継手 接着剤	11 アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.4~5) 区分 表層 基層 地域別 一般地域 寒冷地域 種類 ※密粒度アスファルト混合物(13) ※粗粒度アスファルト混合物(13F) 粗粒度アスファルト混合物(20) プライムコート用乳剤(JISK2208)種別 PK-3 (22.4.3) タックコート用乳剤(JISK2208)種別 PK-4 アスファルト混合物の抽出試験 行わない 行う (22.4.6)	3 植込み用土 現場発生土の良質土 ○寄土(畑土・黒土) (23.2.3) 4 土壌改良材 適用する 施工箇所 植栽範囲・図示 (23.2.3~4) 種類 ・パークたい肥 ・汚泥発酵肥料 土壌との適合性を確認し、品質を証明する資料を監督職員に提出して承諾を得ること。(23.3.2~3)	5 支柱材 種別 加圧式防腐処理丸太材 ・杉の焼丸太(間伐材) ・真竹 形状 ・添え柱形 ○鳥居形 ○ハッ掛け形 ・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形
49	ジェットバス FRP製既製品 10人用 その他、仕様・詳細は参考図による 製造所：ナック・ケイ・エス「NA4200G」 又は同等品		2 化粧ふた(仕上げは周囲舗装仕上げと同材) 名称 種類 適用荷重 適用箇所 化粧蓋 ○鑄鉄製 ・歩行用 図示 目地 ※ステンレス ・貴鋼 ○T-14用 ・	13 コンクリート舗装 コンクリート版の厚さ 図示 寒冷地の縁部立下り寸法等 図示 (22.5.2) 早強ポルトランドセメント 使用しない ・使用する (22.5.3) 目地注入材料 低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)(表22.5.2) 溶接金網 有り ・無し (22.5.3~4)	7 芝張り 種別 コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)	
50	目隠しルーバー 施工場所：屋上 アルミ製 横ルーバータイプ ヘ型 80x70 8125 製造所：理研軽金属工業 スカイフィット SHGZ-70 同等品		製造所：樹蓋： カネソウ「ホーダーカット VSXB+BKIT-14E」 又は同等品 すきま7mmタイプ 掃除口φ15m 溝蓋： カネソウ「ホーダーカット BK1TTTW-14E」 又は同等品	14 カラー舗装 舗装の種類 舗装構成、厚さ 図示 (22.6.2)(表22.6.1) 加熱系(・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物) ○常温系(・ニート工法 ○塗布工法) 加熱系混合物の材料 着色骨材 ・自然石 (22.6.3) 結合材 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	8 新植・移植樹木、芝等の枯損償 引き渡しから1年 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)	
51	樹脂グレーチング 樹脂グレーチング-A：ノンスリップ 順目タイプ 受枠共 製造所：シマブン「GRSJ-25W」受枠共 同等品 樹脂グレーチング-B：ノンスリップ 逆目タイプ 受枠共 製造所：シマブン「GRS-25W」受枠共 同等品		グレーチングふた (21.2.1) 名称 種類 適用荷重 適用箇所 横断溝用 ○鋼製 受枠付き ・歩行用 ○細目 ○滑り止め (※図示・) ・スチール製 ・ ○T-14用 ・普通目 ○ポルト固定式 グレーチング蓋 ○鋼製 受枠付き ・歩行用 ○細目 ○プレーンタイプ (建物前・植栽帯間) ・スチール製 ・ 図示	15 透水性アスファルト舗装(歩行者用通路) アスファルト混合物の抽出試験 行わない 行う (22.7.6)(22.4.6)	9 屋上緑化 植栽基盤 ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ： 図示 (23.5.1~4) ・屋上緑化軽量システム 製造所： 植栽の種類 図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示 ・	
52	SUSグレーチング SUSグレーチング-A：ステンレス製細目グレーチング φ13mm程度 T20対応 受枠共 製造所：カネソウ「SQM12025」受枠共 同等品 機械室出入口 SUSグレーチング-B：ステンレス製排水ピット蓋ノンスリップタイプ 受枠共 製造所：カネソウ「SA-NB-15」受枠共 同等品 シャワー室 SUSグレーチング-C：ステンレス製スリット溝蓋 歩行用 受枠共 製造所：カネソウ スマートスリット「VSMQ」隙間6mm 枠SKFS 同等品 風除室 A-030図 F-21参照		再生クラッシャーラン (21.2.1) ・クラッシャーラン ・切り込み砂利 ・砂 厚さは図示	16 ブロック系舗装 ・コンクリート平板舗装 (22.8.2~3)(表22.8.1)		
53	FRPグレーチング ブル室 空調吹出口用 25mm厚 メッシュ25x100程度 開口率60%程度 製造所：中部コーポレーション「FG25K」 同等品		3 凍上抑制層の材料 再生クラッシャーラン (21.2.1) ・クラッシャーラン ・切り込み砂利 ・砂 厚さは図示	17 砂利敷き ・A種 (施工箇所 図示 ・通路部分 ・) (22.9.2) ・B種 (施工箇所 図示 ・建物周囲 ・) (22.9.2) ○白玉石 (施工箇所 図示 ・建物周囲 ○建物南植栽間) (22.9.2)		
55	消火器ボックス 埋込型：スチール製焼付塗装品、扉・表示付 置型：スチール製焼付塗装品、表示付 設置場所：図示 製造所：埋込型：ユニオン「UFB-1F-3025(指定色)」 同等品 置型：ユニオン「UFB-3F-2900H(標準色)」 同等品		4 砂の粒度試験 ・行う 行わない (21.2.1)	18 路面標示用塗料 JIS K 5665(路面標示用塗料)による。 種類 施工 適用 色 幅(mm) 布厚さ(mm) 揮発性有機溶剤の含有率 溶融型 ・1種 常温用 白 150 1.0 塗料総質量に対して 水性型 ・2種 加熱用 液状 ・ 5%以下 ・1種 常温用 粉体状 ・2種 加熱用 3種1号 溶融 粉体状		
56	消火器 ABC10型 (設備工事)		5 埋戻し土 B種 (21.2.3)(表3.2.1)	19 階段ブロック コンクリート製 凝石ブロック スリット付き 製造所：ユニオン「UG凝石階段ブロック スリット2本付」 又は同等品		
57	郵便ポスト 設置場所：北入口付近(設置場所は監督職員との協議による) 製造所：ナスタ「KS-MB30SIW-C-BK」 又は同等品		6 浸透管及び浸透樹	20 植栽地の確認 土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 行う ・行わない (23.1.3) 電気伝導度(EC)試験 行う ・行わない 芝及び地被類 (23.2.2~3)(表23.2.1~2)		
60	ポラード ステンレス製 固定式 76.3 フックなし 反射板付 製造所：サンポール「LA-8U」 又は同等品		7 現場CBR試験 ・行う 行わない (22.2.5)	21 樹木の植栽基盤整備 適用 有効土層の厚さ(cm) 工法 整備範囲 行う ・行わない 20 ・ B種 ・ 植栽範囲 ・図示 樹木 (23.2.2~4)(表23.2.1~2) 樹木の樹高(m) 有効土層の厚さ(cm) 工法 整備範囲 ・12以上 100 ・ A種 ・葉張りの範囲 ・7以上~12未満 80 ・ B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3以上~7未満 60 ・ C種 ・図示 ・3未満 50 ・ D種		
62	車止め支柱(バリカー) ステンレス製落とし込み式 76.3 チェーン内蔵型 鍵付き バリアフリータイプ 製造所：サンポール「LA-8LC-BF、LA-8LC-E-BF」 又は同等品		8 路盤の構成 路盤の厚さ 図示 (22.3.2)	22 植栽及び屋上緑化工事 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。		
61	伸縮ゲート アルミ製 フラットレールタイプ(ステンレス製) H1000程度 製造所：三協アルミ「アルテダゲン型 27S」 又は同等品		9 路盤の締固め度試験 行う(盛土部) (22.3.5)			
62	メッシュフェンス スチール製 フリー支柱タイプ H1000程度 製造所：三協アルミ「ユメッシュE型フェンス」 又は同等品		10 路盤材料 再生クラッシャーラン(RC-40) (22.3.3)(表22.3.1) ・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーラン鉄鋼スラグ(GS-40)			
63	舗装見切 ステンレス製舗装用見切材 H75 ジョイント金物共 製造所：カネソウ「IS-75S」 又は同等品					
64	洗面・洗眼台 人工大理石製 シンカー一体型手洗いカウンター 3人用x2台 SUS製架台、排水目皿・トラップ共 製造所：ABC商会「ラビードフレキシブルシンク フラップES」 又は同等品					
65	目隠しフェンス アルミ製 横ルーバータイプ H1200程度 製造所：LIXIL「オブリークフェンスRB型」 又は同等品					
				設計番号 20170253 作成日 2021.03 種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事 図面番号 A-009	
				株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC. 一級建築士 NO.286010 担当 小柳 英治	図面名称 特記仕様書 その7 縮尺 A1: - A3: -	



敷地求積図

地番	13				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K510	-85277.855	-25529.304	-25.584	2181748.642320	
K507	-85328.430	-25529.969	24.212	-2065971.947160	
K508	-85328.780	-25505.092	25.584	-2183051.507520	
K509	-85278.205	-25504.385	-24.212	2064755.899460	
合計					-2518.912900
合計面積					1259.4564500
地積					1259.45 m ²

地番	14				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K307	-85277.568	-25549.662	-19.963	1698984.987264	
K306	-85328.144	-25550.287	18.673	-1593332.432912	
K506	-85328.416	-25530.989	19.963	-1699998.031968	
K511	-85277.840	-25530.364	-18.673	1592393.106320	
合計					-1952.371296
合計面積					976.1856480
地積					976.18 m ²

地番	15				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K308	-85277.339	-25565.860	-16.823	1434620.673997	
K305	-85327.916	-25566.485	15.573	-1328811.635868	
K306	-85328.144	-25550.287	16.823	-1435475.366512	
K307	-85277.568	-25549.662	-15.573	1328027.566464	
合計					-1638.761919
合計面積					819.3809595
地積					819.38 m ²

地番	16				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K309	-85276.952	-25593.358	-27.692	2361489.354784	
K303	-85292.716	-25593.552	-0.624	53222.654784	
K304	-85327.528	-25593.982	27.067	-2309560.200376	
K305	-85327.916	-25566.485	28.122	-2399591.653752	
K308	-85277.339	-25565.860	-26.873	2291657.930947	
合計					-2781.913613
合計面積					1390.9568065
地積					1390.95 m ²

地番	54 (北名古屋市所有水路)				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K511	-85277.840	-25530.364	-1.685	143693.160400	
K506	-85328.416	-25530.989	0.395	-33704.724320	
K507	-85328.430	-25529.969	1.685	-143778.404550	
K510	-85277.855	-25529.304	-0.395	33684.752725	
合計					-105.215745
合計面積					52.6078725
地積					52.60 m ²

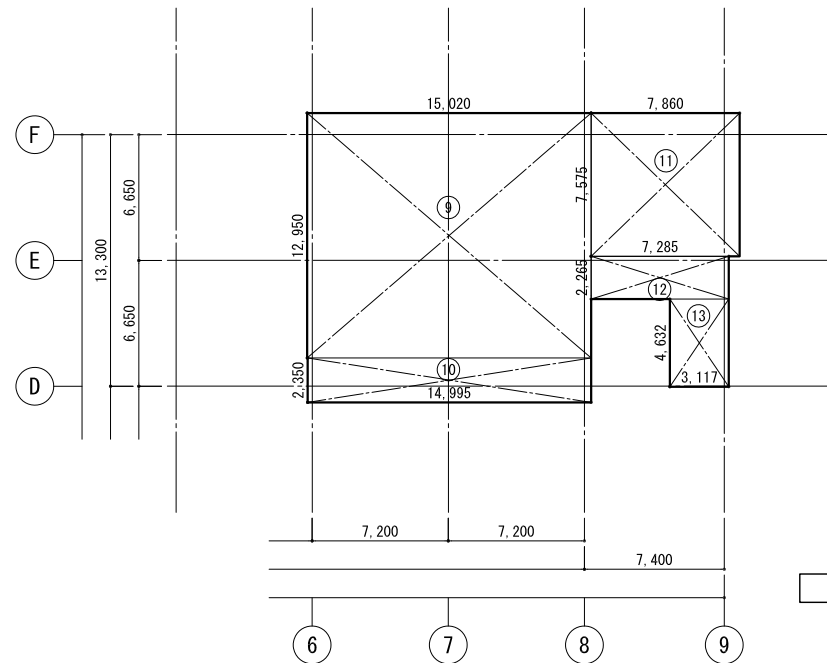
地番	17-4				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K500	-85302.649	-25614.581	-4.951	422333.415199	
K501	-85327.203	-25614.930	4.252	-362811.267156	
K502	-85327.274	-25610.329	4.951	-422455.333574	
K505	-85302.709	-25609.979	-4.252	362707.118668	
合計					-226.066863
合計面積					113.0334315
地積					113.03 m ²

地番	17-3				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K505	-85302.709	-25609.979	-4.951	422333.712259	
K502	-85327.274	-25610.329	4.252	-362811.569048	
K503	-85327.346	-25605.727	4.951	-422455.690046	
K504	-85302.768	-25605.378	-4.252	362707.369536	
合計					-226.177299
合計面積					113.0886495
地積					113.08 m ²

地番	17-2				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K302	-85292.396	-25614.517	-21.029	1793613.795484	
K500	-85302.649	-25614.581	4.538	-387103.421162	
K505	-85302.709	-25609.979	9.203	-785040.830927	
K504	-85302.768	-25605.378	4.252	-362707.369536	
K503	-85327.346	-25605.727	11.396	-972390.435016	
K304	-85327.528	-25593.982	12.175	-1038862.653400	
K303	-85292.716	-25593.552	-20.535	1751485.923060	
合計					-1004.991497
合計面積					502.4957485
地積					502.49 m ²

地番	17-1				
NO	X _n	Y _n	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X _n · (Y _{n+1} - Y _{n-1})	
K301	-85276.632	-25614.325	-21.159	1804368.256488	
K302	-85292.396	-25614.517	20.773	-1771778.942108	
K303	-85292.716	-25593.552	21.159	-1804708.577844	
K309	-85276.952	-25593.358	-20.773	1771458.123896	
合計					-661.139568
合計面積					330.5697840
地積					330.56 m ²

敷地求積面積合計 : 5,557.72m²



2階求積図

・本体棟
延床面積

階	番号	L1	L2	S	合計
1階	1	38.520	8.600	331.272000	2,172.47
	2	39.160	43.770	1,714.033200	
	3	6.650	7.350	48.877500	
	4	7.770	7.995	62.121150	
	5	3.680	4.395	16.173600	
	6	2.110	13.756	29.025160	
	7	3.680	3.600	13.248000	
	9	7.000	5.000	35.000000	
2階	8	12.950	15.070	194.509000	320.22
	10	2.350	14.995	35.238250	
	11	7.575	7.860	59.539500	
	12	2.265	7.285	16.500525	
	13	4.632	3.117	14.437944	
					320.22
					2,569.97

延床面積合計
2,172.47

建築面積

番号	L1	L2	S	合計
延床面積 1~5				2,172.47/1450
a	1.110	11.750	13.047500	2,278.05
b	0.880	22.305	19.628400	
c	7.530	0.575	4.329750	
d	3.350	3.170	10.619500	
e	0.500	43.770	21.885000	
f	4.150	1.000	4.150000	
g	7.600	4.200	31.920000	

・駐輪場
延床面積

L1	L2	S	合計
2.300	18.650	42.895000	42.89

建築面積

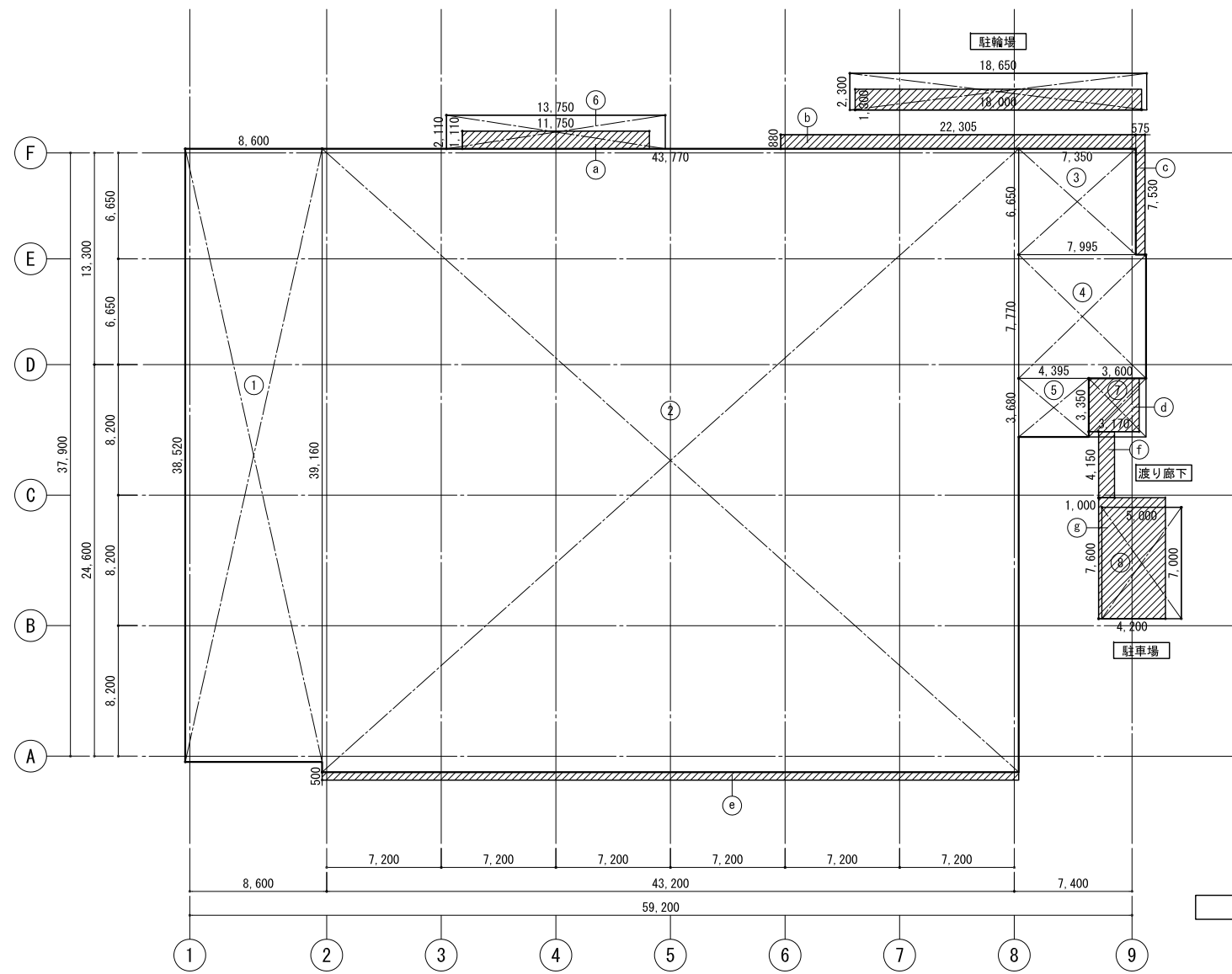
L1	L2	S	合計
1.300	18.000	23.400000	23.40

■ 建築面積

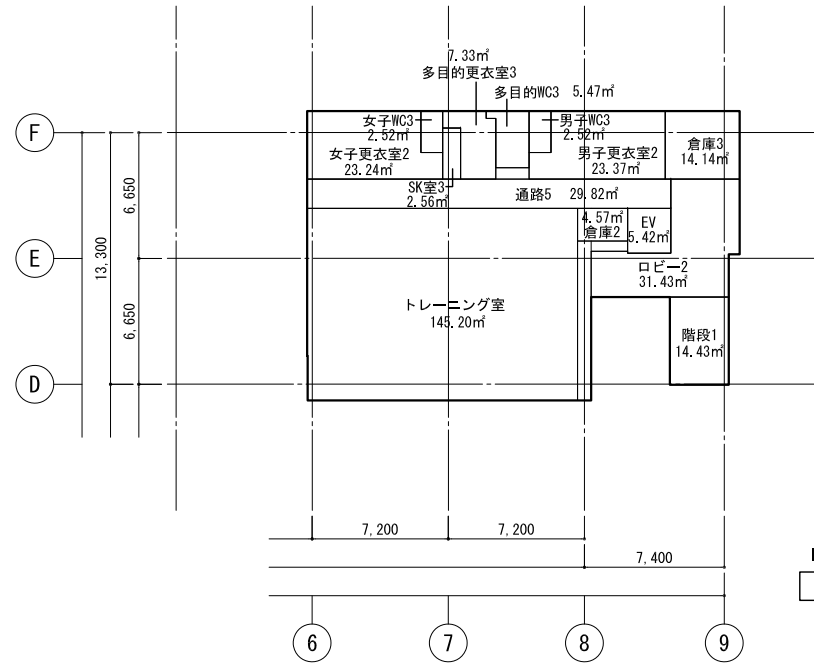
	本体棟	駐輪場	
棟別	2,278.05 m ²	23.40 m ²	
合計			2,301.45 m ²

■ 延床面積

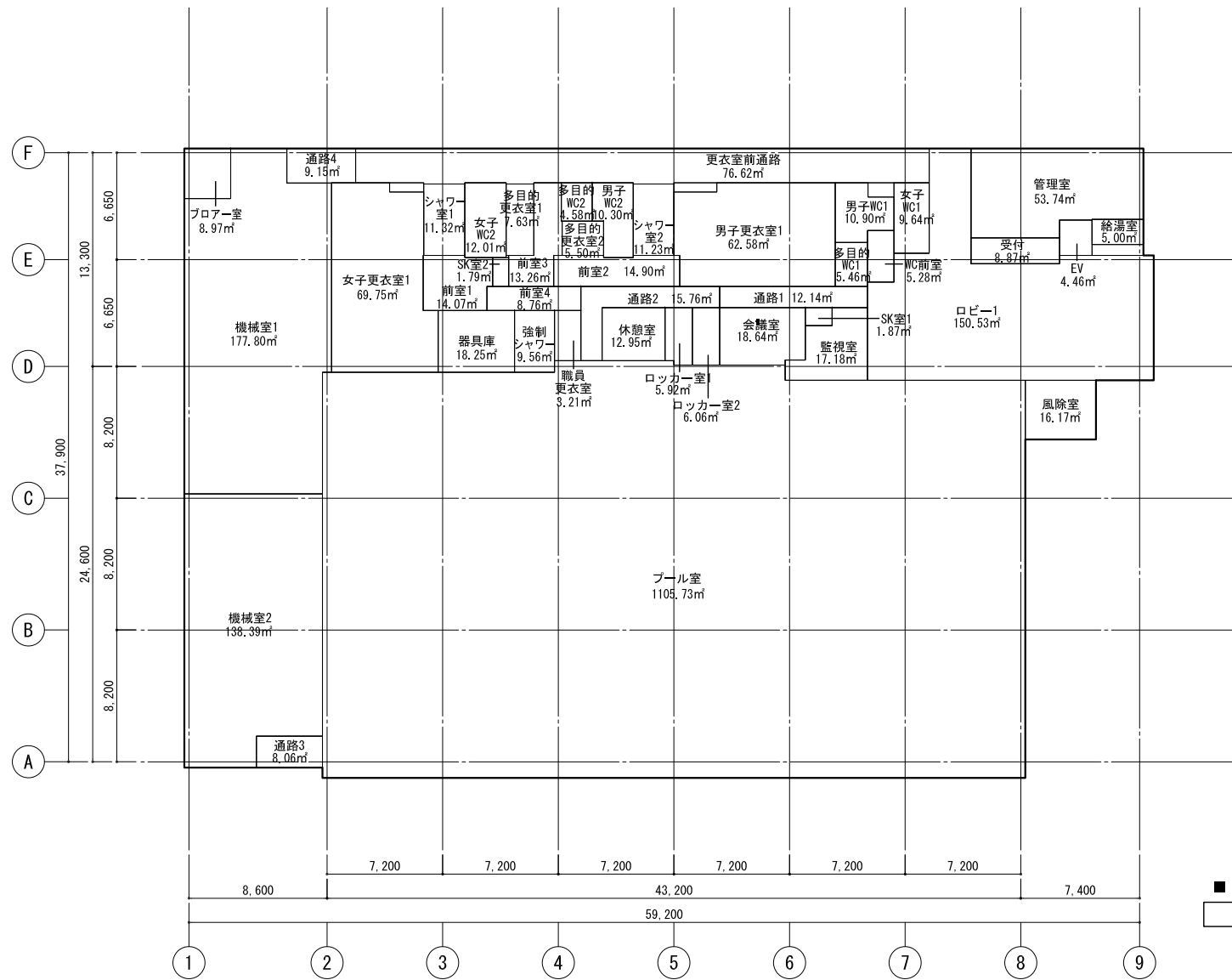
	本体棟	駐輪場	
棟別	2,569.97 m ²	42.89 m ²	
合計			2,612.86 m ²



1階求積図



■ 各室面積
2階求積図



■ 各室面積
1階求積図

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO. 286010	担当 小柳 英治		図面名称 求積図・面積表 その2	A-013
				縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	